

# 反核

## 医師の会

### ニュース

第50号  
2012年5月15日

Physicians Against Nuclear War (PANW)  
核戦争に反対する医師の会事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5  
新宿農協会館 全国保険医団体連合会内  
電話 03(3375)5121 FAX 03(3375)1885  
e-mail: panw@doc-net.or.jp  
http://no-nukes.doc-net.or.jp/

## どうなるIPPNNW広島大会

### 原発問題で意識の転換を望む

反核医師の会常任世話人 武田勝文



8月24〜26日に開催される第20回IPPNNW世界大会の動きについて私の知る範囲で報告する。

年について2度目。唯一の被爆国で核廃絶を訴えなければならぬという使命と、たまたま発生した東日本大震災と福島原発事故、原子力エネルギー問題と脱原発を議論するまたとない機会となる。これまでIPPNNW世界大会では核廃絶、ICANNキャンペーン

会では、原発問題は核廃絶と並んで最重要テーマになるべきだと思ふ。しかし、プログラムの内容をみると、その期待が裏切られるのではないかと危惧する。IPPNNWの理事会でのやり取りから、IPPNNWのある理事は、原発事故関係の全体会議の発言者を、いわゆる「原発村」から招待しようとした。これに異論をはさんだ他の理事の要求で、原発批判派を入れたといういきさつがあったようだ。原発問題に関する全体会議は①「原子力エネルギーについて」(発言者：丹羽太貫/ICRP委員、今中哲二/京都大学助教、ラース・ポルマイヤー/ドイツ)、②「東電福島第1原発事故・事故の経緯と医療支援」(発言者：鈴木達治郎/原子力委員会、神谷研二/広大原研所長、谷川攻一/広島大

## 反核医師の会25周年、ニュース第50号記念特集

核戦争に反対する医師の会は今年、25周年を迎える。第1回「集い」の開催に向けて創刊した「核戦争に反対し、核兵器の廃絶を求める医師・医学者の集いニュース」は、1994年から9年間の休刊を経て2003年に復刊。2007年に現在の「反核医師の会ニュース」に改称し、第50号を迎えた。(2,3面に特集)



IPPNNWアジア・太平洋地域会議で、日本人医師の発言に拍手を送る参加者(1987年2月、ニュージーランド・オークランド市)。同年8月、第1回「核戦争に反対し、核兵器の廃絶を求める医師・医学者の集い」が東京で開催された。

授、田代聡/広島大原研教授、天野治/日本原子力開発機構)――。発言者を見ればIPPNNWの意図がわかる。元来、IPPNNWは原発容認方針をとっている。顧問で元外務官僚の金子熊夫氏は積極的な原発推進派だ。3・11以後、多くの原発容認派が批判派にか

わったが、IPPNNWは変わっていないようで、今回のIPPNNW世界大会を誤った方向に導こうとしている。これはIPPNNWの常識とはかけ離れており、世界からの参加者に違和感と失望をもたらすだろう。PANWは原爆症認定問題と脱原発に関するワーク

## 「今、すべきこと」を議論しよう

核兵器も原発もない社会を、子どもたちへ

6月10日・東京 反核医師のつどい

反核医師の会代表世話人 児嶋 徹



核戦争に反対する医師の会(PANW)会員・全国世話人・医師、歯科医師、医学者、医学生の方々に！ 医療活動、研究活動、勉学に毎日励んでおられると思います。2012年6月9日に全国世話人会、6月10日に「つどい」を東京で開催します。2011年3月11日の東日本大震災、続発した人災である福島第一原発事故の1年余、心穏やかに過ごされた日は一日たりもなかったことと思いま

す。その後の政府・東電の場所もなく、高速増殖炉技術もデッドロック状態にある。危機は私たちが想像するよりも迫っていることを認識しなければならぬと思ふ。昨年の埼玉での「つどい」の成功を受けてこの問題を今年の東京での「つどい」でさらに深めていきます。

対応、政・官・財・学・マスメディアの原発擁護・推進などをみて、多くの国民は、この国が人類の歴史の教訓を学び取らず、一人ひとりを大切にせず、危機管理ができない国と感じ始め、漫然と生きることに決別しようとしています。原爆と原発は双子の兄弟であり、地球環境破壊の最大の元凶であり、人間の命と健康を脅かすものは放射能汚染であることを学びつつあります。私たちが、この狭い地震国である日本で新たな原発事故が起これば取り返しつかないところにきていると強く認識して

います。使用済み炉心棒の収納場所もなく、高速増殖炉技術もデッドロック状態にある。危機は私たちが想像するよりも迫っていることを認識しなければならぬと思ふ。昨年の埼玉での「つどい」の成功を受けてこの問題を今年の東京での「つどい」でさらに深めていきます。

「核兵器廃絶国際キャンペーン」パンフ日本語版を作成、普及に努めてきました。今回の「つどい」では「核兵器廃絶に向け、ICANN運動を草の根から進めよう」をテーマにシンポジウムを開催します。2009年9月に開催された歴史

上初めてであった「核軍縮・不拡散をテーマにした」国連安全保障会議で、「核兵器のない世界」を目指した条件づくりに安保理として取り進む決意を前文に記した決議が満場一致で採択されています。核拡散防止条約(NPT)6条に基づき、核削減を含む軍縮条約の交渉を促進する決議が安保理で採択されたのは画期的なことです。核兵器保有国に核兵器禁止条約を締結させるために2015年のNPT会議に向け、私たちが、今、せねばならないことを皆で議論しましょう。

8月には、広島でIPPNNW国際会議が開催されます。PANWでは、スイス・バーゼル大会に続き、ワークショップを開催予定です。2012年4月

## ガンマ線

核戦争で人類が滅亡するまでの時間を表す「終末時計」が1月、1分進められ、残り5分となったことは前号の本欄で紹介された。一方、国際赤十字・赤新月運動の第31回代表者会議が昨年11月、ジュネーブで開催され、「核兵器廃絶に向けて努力を」と題する決議を採択した。今回の決議は日本赤十字社がオーストラリアとノルウエーと共同提案した。決議は、核兵器廃絶が「国境や政党の垣根をのり越えるべき課題であり、まさに私たち人類の存続を保障するために、この惑星のすべての市民にとつての共同スローガンであるべきだ」と訴えている。また「危機に際し、最も救助を必要とする人々の健康維持、救済に携わってきた医療関係者として、核兵器爆発に対する

# あの日あの日、そしてこれから

## We believe, therefore, in the abolition of nuclear weapons.

反核医師の会顧問 蒔 昭三



第7回IPPNW・モスクワ大会の第2回目の全体集会は1987年5月31日午後3時から開催された。事務局長のコーン・ニューゼットが登壇して大会決議案を提案しはじめた。「…われわれは核兵器が爆発したらどうなるかという認識から出発した。…これらの過程で事態は緊急を要すると考えるに至った。…従ってわれわれは、単に核兵器の削減ではなく、その廃絶を主張する人々に同意する。」

瞬間の感激は今も忘れられない。隣にいた河野、安賀先生(ともに故人)、児嶋先生などと涙ぐみながら「ヤッター!!」と日本語で叫びながら拳を上げた記憶が今も鮮明である。この総会でIPPNWは「What We Believe」―我々の信条―を採用し、はじめて「核兵器の廃絶」を主要な目標に掲げたのである。1981年にIPPNWが結成されてからの各大会の主題を順次追うと「核軍拡の現状と医療者の役割」「核戦争の帰結」「核の錯覚、人間の犠牲」「岐路に立つ人類」「対決ではなく協調を」「地球上の生命維持を」であった。そして漸く7回大会で「核兵器の廃絶」を目標にかかげたのであった。

「…」の「abolition of nuclear weapons」という

日本で「反核医師の会」のような「組織」が最初につくられたのは神奈川県で



IPPNWラウン共同会長と

訪れ、同時多発テロのすさまじい被害に息をのみました。核戦争阻止、核兵器廃絶は、私の活動の原点です。病院で被爆者検診に取り組んでいた時に診察室で「今まで検診は受けませんでした。が、ようやく息子も娘も独立し、被爆者であること

## 核廃絶は活動の原点

日本共産党政策委員長 小池 晃



私が最初に反核運動にかかわったのは学生の時でした。東北大学医学部には「平和懇談会」という学生サークルがあり、仙台一の繁華街である一番町で毎月「6・9行動」に取り組んでいました。その当時の宮城県原爆被爆者の会の責任者を務めておられた田中照巳(てるみ)さんは、いま日本被団協の事務局長とし

て活躍されています。医師になってからは、原水爆禁止世界大会に参加するとともに、IPPNW(核戦争阻止国際医師会議)の1988年のモントリオール大会、89年広島大会、96年のウースター(ボストン近郊の都市)大会、02年ワシントン大会に参加しました。初めて参加したモントリオールでは、世界の核廃絶をめざす医師のパワーに圧倒されました。ウースター1での宿泊はアメリカの学生寮。これも忘れられませんが、ワシントン大会に参加した際には、松井和夫先生とご一緒に一足早くニューヨークに立ち寄り、9・11の現場であるWTC跡地を

ある。その後、いくつかの県(17)で同様の組織がうまれた。広島県医師会以外の組織で、IPPNWと関係をとりはじめたのは全日本民医連、保団連であるが、その第3回アムステルダム総会に保団連桐島会長、民医連大月副会長が出席し、その後系統的にIPPNWと接触してきた。4、5、6、7回と十数人が組織的に参加し、核兵器廃絶をめざす「ヒロシマ・ナガサキアピール署名」を中心に、積極的に参加者に「核廃絶」をよびかけてきたのである。しかし海外の参加者の多くは「廃絶なんて出来ないよ、ナンセンス!」「署名して何の効果があるの!」「日本の平和はアメリカの核兵器よ!」と冷やかかな目で見られたことを今も鮮明に記憶している。広島IPPNW日本支部から大会に参加していたある会員から、署名行動に「日本の恥さらし」と悪態をつかれたことも記憶している。しかしチエルノブイリ事故(1986年)後、急速に「廃絶」の正当性が理解され、モスクワではラウン、チャゾフIPPNW共同会長やソビエト医学会会長クージンも私の訴えにサインしてくれた。

その後、日本で「つどい」結成のために1987年6月13日に第1回「呼びかけ人」会議が開催された。その呼びかけ人は秋元波留夫、蒔昭三、桐島正義、西尾雅七、松本淳治、弓削経一、横山正松、若月俊一の諸氏であった。

## 旧ソ核実験場を訪問

反核医師の会常任世話人 原 和人



学生時代、私はベトナム反戦運動や沖縄返還闘争など、平和活動には「人並み」に参加していました。まさか、自分のライフワークの一つになるとは思ってもいませんでした。医師となつて、平和活動に本格的にかかわるようになったのは、1993年の旧ソ連の核実験場であるセミパラチンスクへの訪問がきっかけでした。その前年、私は全日本民医連の理事に選任されましたが、セミパラチンスクで核実験被害に関する国際会議があるということ

「つどい」からです。その当時、私の大先輩の蒔先生が代表世話人をされていたので、私がカバン持ちのよ

り、高草木博さんと山梨の宇藤千枝子先生と一緒に訪問しました。セミパラチンスクは、1949年、私が生まれる1カ月前に初めて核実験が行われ、その後470回もの核実験が行われました。そして、住民には核実験が知らされず、住民はモルモットのように扱われました。セミパラチンスクから帰つてくると、いつの間にか民医連の平和担当とされ、1985年の被爆40周年の「草の根行動」の国連要請、1999年のオランダのハーグでの行動、2005年にはスリランカの津波支援、そしてヨルダンへのイラク支援など、様々な海外での行動に参加をさせていただきました。反核医師の会への参加は、1994年の仙台での

## IPPNW大会で署名750筆

原水爆禁止世界大会実行委員会議長 鮫島千秋



私を反戦運動に向かわせたのは、敗戦のイメージだった。当時中学3年生だった私は、疎開先の鹿児島から長崎に戻り、故郷の惨状を目の当たりにした。「こんな長崎に誰がした」と憤るも、その矛先を誰に向けていいのかわからず、ただひたすら腹立たしかったのを覚えている。いわゆる玉音放送後の警察の暴虐非道など、さまざまな経験から導き出されたのが、反戦運動であり反核運動だった。原

水爆禁止世界大会には、1956年に長崎で開催された第2回大会から毎年参加し、96年からは議長団を務めている。反核医師の会で最も印象的なのは、やはり1987年のIPPNWモスクワ大会だ。私たちは事前に学習部を兼ねて臨んだが、日本支部はJPPNWということになっていたので、反核医師の会には全体会議で登壇して発言する機会はありません。特定の思想・集団への攻撃を中心に据えたいような偏狭な運動にならないよう、核兵器廃絶という目的に向かって、若い人

「核のない世界」に向けて、頑張らなければと思います。

50号記念特集



大会決議で初めて核兵器の「廃絶」を掲げた第7回IPPNW世界大会で、発言に耳を傾ける面々（1987年5月29日、ソ連・モスクワ市）



第7回IPPNW世界大会で、核廃絶署名を呼びかけ、多くの海外代表が協力した（1987年5月、ソ連・モスクワ市）



核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者の集いの第1回よびかけ人会議（1987年6月13日、東京）



▲第1回IPPNWアジア・太平洋地域会議の夕食会で、ディレック・ノース教授（中央、IPPNWニュージーランド支部長）と交流を深める郷地（左）、訪各氏（1987年2月8日、ニュージーランド・オークランド市）



◀日米ガイドラインに反対する医師・医学者アピールについて記者発表する（左から）訪、河野、中川各氏（1999年、東京）

メッセージ



メリーウィン・アシュフォード  
（医学博士、教育学博士）

親愛なる同僚であり、友人のみなさん、

このたびはおめでとございます。PANWの創立以来、たくさんの方の挑戦をし、また数々の変革に立ち会ってきたことと思います。

みなさんの歴史の中で、もっとも痛ましい出来事は福島原発事故でしょう。悪夢のような災害はまだ終息していないと実感するとともに、原発から放射性物質が放出され続けることに対するみなさんの怒りを感じます。私は2012年3月11

メッセージ

役者／有馬理恵

ニュース50号の発行、おめでとございます。今後みなさまの活躍を、心から期待しております。

「3・11」後、放射能から子どもたちを守るために、全国にいくつもの会が立ち上がりました。「昨年4月から下痢、血便が止まらない。全身検査、異常なし、原因不明。あとは心療内科へ」と言われ「死ぬんじゃないか」と塞ぎ込む思春期の子ども。「昨年4月から幼児から血便が止まらなく、埼玉から沖縄県に移住し、6カ月後やっと血便が治まったので、埼玉県

メッセージ

の自宅に戻ったら、3日後再び血便。医師にも相談したが解決法なし」と幼児のお母さん。「昨年5月から下痢、嘔吐、爪はがれ、咳、口内炎、おでき、起き上がれない程度の倦怠感、全身検査異常なし。周囲には理解されず、孤立と不安」と30歳代女性など、日々深刻な訴えが絶えません。それぞれが医療機関で診察を受け「ストレス」「気にしすぎ」「首都圏で放射能の影響なんてありえない」との地元の医師の言葉に愕然とします。

心ある反核医師の会のみなさまによる「被ばく相談ホットライン」などの開設を熱望します。よろしくお願いいたします。



第2回北アジア地域会議の会場で、折鶴の実演や原爆パネル展示などを行い、現地の若者と交流を深めた（1999年10月、中国・北京市）



第11回反核医師のつどいで講演するメリーウィン・アシュフォード氏（2000年10月21日、大阪）



◀NPT再検討会議に合わせ、核廃絶署名を呼びかける永瀬氏（2010年5月、米国・ニューヨーク市）



PANW学生会が発足し、第19回反核医師のつどいで報告する奥野代表（2008年11月23日、石川・金沢市）



第19回IPPNW世界大会で、PANWとして初のワークショップ「世界のヒバクシャ」を開催した（2010年8月、スイス・バーゼル市）

50号発行までの略年表		
年	月日	備考
1981	3月	第1回IPPNW総会。
1982	4月	10人の医師が「核兵器の完全禁止と軍縮の実現をめざす医師、医学者のみなさんへの訴え」（反核医師のアピール）の呼びかけ人を集める運動を組織。
1985	6月	第5回IPPNW総会（ブダペスト）で訪、河野らが核廃絶運動を展開。ヒロシマ・ナガサキアピールの第一号署名にLown, Chazovが協力。
1987	5月	第7回IPPNW世界大会（モスクワ）に、後の「集い」メンバー12人が参加（以降、毎回10～30人超の代表団を結成）。大会決議で初めて核兵器の「廃絶」を掲げた。
	6月13日	全国組織設立を目指す第1回呼びかけ人会議。「核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者の集い」開催を決定。
	7月3日	「集い」記者会見。全国紙など5社が報道。
	7月18日	「集いニュース」第1号発行。
	8月1～2日	第1回「集い」。賛同者2233人。以降、2011年の第22回までほぼ毎年開催。
1994	9月15日	「集いニュース」第24号を最後に休刊状態に。
1997		常任世話人会を3カ月に1回、運営委員会を毎月開催とする。
2002	11月	「核のない世界へ～医療人のための平和テキスト」を発行。
2003	5月31日	題字を改め、「つどいニュース」復刊。
2004	10月10日	各県代表者会議で申し合わせ事項を確認。会の名称を「核戦争に反対する医師の会」（略称：反核医師の会）、全国大会名を「核戦争に反対し核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい」（略称：反核医師のつどい）とした。
2005	10月22日	第1回全国世話人会。寄付金・団体援助金による運営から会費制へ移行。
2006	7月15～17日	被爆者医療に取り組む韓国医師との交流を深めようと「平和と交流の旅 in 韓国」ツアーを開催。13人参加。
2008	4月14日	20周年記念事業として『平和へのアクション101+2』（かもがわ出版）を発行。初版1200部完売。
	11月22日	学生会発足集会。
2010	5月	NPT再検討会議に松井事務局長を代表派遣。ニューヨークで「PANWのつどい」を開催。
	8月	IPPNW世界大会（バーゼル）でPANW初のワークショップ「世界のヒバクシャ」を開催。
	9月18日	第6回全国世話人会で申し合わせ事項改定、全国世話人会を単独開催とする。
2011	4月24日	第7回全国世話人会で申し合わせ事項改定、新たに運営委員会を設置。福島原発事故を受け、原発問題について協議。
	5月	ICANパンフ日本語版を作成。

各地の反核医師の会から

「原発なくそう！九州玄海訴訟」に

原告として参加

反核医師の会常任世話人 千葉 研介



東京電力福島第一原発の事故で、原発の安全神話は崩れた。でも実はまだ福島...



訴状では、昨年の福島第一原発事故で4基が制御不能になり「安全神話は虚偽...

福島で生きる

昭和大学医学部5年 国井 綾



学生部会 コーナー

2011年3月11日の大震災と津波、引き続いておこった原発事故。今回は、あ...

大地が揺れたあの日、私は福島での北海道東北民医連合同会宿(3月11-13日)に参加していた。私は...

燃料サイクルや原子力技術の研究開発を推進してきたことから「国は電力会社と...

3月12日には、さらに1370人が佐賀地裁に追加提訴し、原告数は36都道府...

【写真】玄海原子力発電の操業差し止めを求める「原発なくそう！九州玄海訴訟」の第2次提訴(3月12日、佐賀地裁前)

国民の過半数が原発はいらないと考えている。原発に頼らない再生可能な自然エ...

であった宮城の医師と学生は来なかった。広島に来ていた何名かの仲間、帰るための足が確保できしだい...

に寄り添い安心感を与えられる医師になりたいと考えている。高校生までのびのびと暮らし、育ってきた福島には思い入れがある。こ...

日本政府は北朝鮮の「人工衛星」ロケット打ち上げ事件をミサイル防衛システムの有事態勢発動とする場にしています。

時事モニター

第7回 北朝鮮「人工衛星」日米共同ミサイル防衛の構え

国内メディアはPAC3の配備と国民保護法に基づく避難指示Jアラートの警報を発するとニュースを連日流しました。

号システムで起動されます。ロケット発射を検知する米早期警戒衛星の信号は米本土の北米航空宇宙防衛司令部が受信、ハワイの米太平洋軍司令部を経て東京・横田基地内にある日米共同運用調整所に届きます。

一人に、健康な生活、人間らしい生活、幸せな生活を求める権利がある。その上で、家庭のこと、地域のことなど葛藤がありながら避ける、あるいはしないことを選んでいく。福島にとどまることを選んだ方たち...

クロスワードパズル

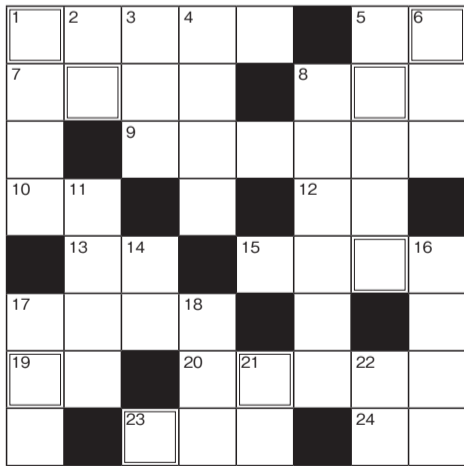
□の中に入る文字を並べかえて、一つの言葉にしてください。

【ヨコのカギ】

- 1. 米国とカナダの国境にある大きな滝。
5. 戦後の一時期、アメリカで「マッカーシー旋風」が吹き荒れました。【〇〇狩り】
7. 海老の王様。
8. 腕の古い言い方。肩からひじまでの部分。二の腕。
9. 強者に対する弱者の憎悪や復讐衝動などの感情が内攻的に屈折している状態。ニーチェやシェーラーによって用いられた語。
10. コンビニやファミレスなどで使える汎用型のプリペイドカード。
12. 人を恐れさせるような、すこみ。【〇〇の利いた声】
13. 〇〇と喧嘩は江戸の花。
15. 秋に花が咲く草の総称。
17. 物事がはつきりしないさま。あてにならないさま。曖昧。
19. リビング。
20. 色の境目が濃色から淡色に、または、その逆にと変化していくようにする染め方。また、そのように染めた物。
23. 税金や商品などを納める時期。また、その期限。
24. 約2万種が熱帯を中心に広く分布。地中に根をはる地生のほか着生・腐生もあり、ふつう多年草。

【タテのカギ】

- 1. 国家の行政権を担当する最高の合議機関。
2. 旧国名。現在の三重県の大半。
3. 野菜や魚介などに酢・味噌・ごま・からしなどをまぜ合わせること。
4. 中国四川省中部にある山。最高峰は方広頂で標高3099メートル。中国仏教の三大霊場の一つ。
5. 目を覆うマスク。明るい場所でも睡眠をとれるようにするためのもの。
6. パレスチナ地方の古称。旧約聖書で、神がイスラエルに与えたという約束の地。
8. 隅田川の最下流に架かる橋。築地と月島とを結ぶ。中央部が二つに跳ね上がる可動橋。現在は開閉をやめている。



- 11. その味があまりおいしいため、自分のところのご飯を食べつくしてしまい、隣から「まま(飯)」を借りるほど食が進むという意味で名づけられたというママカリで有名な県。
14. 自分の才能・知識・業績などに自信と誇りを持つこと。
16. 一人で数人分の働きをすること。〇〇〇〇六臂。
17. かわいがって大事にしている馬。
18. 分不相応な望み。また、身の程を知らない大それた野心。
21. オイスター。
22. 「居酒屋」「ナナ」「大地」などの作品で有名なフランスの文豪。

パズルの答えと必要事項を記入し、ご応募ください。正解者の中から抽選で10名様に図書券を贈呈します。締め切りは6月15日必着。正解は6月20日以降にウェブサイトと本紙で発表します。【記入事項】①答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦Eメールアドレス⑧ご意見・ご感想(①~④は必須)【宛先】〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5F 全国保険医団体連合会内 反核医師の会 (panw@doc-net.or.jp)